

【2015 年度会計報告・活動報告と 2016 年度予算・活動計画】

2016 年 1 月末ぐる一ん社員会議にて承認された 2015 年度収支と 2016 年度予算について、ホームページに平成 27 年度「財産目録」「貸借対照表」と「正味財産増減計算書(平成 28 年度収支予算書)」をアップしました。詳細はそちらをご覧ください。当期正味財産で減額が生じているのは、一昨年天候不順のため実施できなかった事業の助成金の返済分です。今年度予算については、昨年同様助成金は予算に入れず、理事給与をゼロにすることで本年度予定の子ども達の交流イベント事業・抱っこ事業・里親養親研修事業の費用に充てます。続く 2 月 1 日の社員会議にて、2 年の任期を終えた河本美津子が理事に再任されました。引き続き代表理事を務めますので、よろしくお願いいたします。

2015 年活動報告

2015 年 2 月、有尾の他界後、河本が代表理事となり、一般社団法人ぐる一んの登記を岡山に移転。それまでの理事 2 人による関東・岡山を中心とした体制を、全国各地域のリーダーを中心とした活動へと展開させました。また地域の枠を超えた活動によるグループや、施設ごとのグループも作りサポーター相互の連携と連帯の強化を図りました。ぐる一んの活動の 3 つの柱については、各地で以下の活動を行いました。

① 乳児院・児童養護施設での抱っこ

2015 年 12 月現在サポーター登録数は約 1000 名、乳児院・児童養護施設での定期的な抱っこに通っているサポーターは約 100 名。抱っこだけでなく、それぞれのサポーターができることを考えながら、子ども達との関わり方や新しい活動を模索中。Facebook を活用しながらサポーターの体験報告を共有すると共に、一般公開の情報を発信することで、10 代～70 代までの幅広い層から支持を受けています。活動への共感が高まることは、社会的養護の必要な子ども達への関心の高まりであり、問題意識を持った市民の社会的活動への参加を促します。

② 生育環境の違いを超えた子ども達の交流イベントの開催

5 月ダチョウイベント(岡山・参加者 50 人)、7 月サバイバルイベント(岡山・78 人)、11 月トトロイベント(埼玉・50 人)

西と東でアウトドアイベントを開催し、サバイバルイベント・トトロイベントでは作成した動画で広報に尽力。イベントに参加したことのない人にも楽しさが伝わるものとなりました。これらのイベントが子ども同士の交流だけでなく、普段あまり接する機会のない大人とのふれあいの場になり、里親候補と里子候補との出会いの機会になるよう、今後も継続して行います。

③ 里親制度・養子縁組制度に対する理解を深めるための情報発信と広報活動

1 月里親心得座談会(岡山・参加者 50 人)、3 月ボランティアフェスティバル(岡山)、7 月 DVD 鑑賞会(岡山・30 人)、8 月テレビニュースでの活動紹介(岡山・7 分 30 秒)、ぐる一ん交流会(東京、70 人)、11 月あいぽーと文化祭(熊本)、12 月ゆうあいセンターふる

しき市(岡山)、地元新聞に活動掲載(熊本)

その他、抱っこのイメージ動画を作成しソーシャルプラットフォーム gooddo で公開、好評を博しています。gooddo や Yahoo 募金でも活動資金を集めると共にインターネットを通して活動の周知に努めています。また、サポーターのレポートにイラストを添えたイラストストーリーを再開し、施設での抱っこの様子や里親と子どもとの関わり等を紹介しました。活動をよりよく理解してもらうための一助となっています。HP とパンフレットは本年度改訂予定。

愛のベビースタイプロジェクトは、10 都府県で活動が引き続き行われ、17 軒の乳児院へお届けしました。定期的に抱っこに行けないサポーターでも参加でき、サポーター同士が顔を合わせる機会としてもこれからも継続します。

2016 年活動計画

ぐる一んのこれまでの活動の中心である「乳児院・児童養護施設での抱っこ」「生育環境の違いを越えた子ども達の交流イベント」「里親制度・養子縁組制度への理解を深めるための情報発信と広報活動」は継続して行います。サポーターに関しては、登録数を増やすだけでなく、これまで活動の始まっていない地域でサポーター登録を拡大し、活動を開始します。定期的な抱っこについては、抱っこサポーターの数の増加も重要ですが、行き始めたサポーターが活動を継続することを目指します。施設の職員の方々や子ども達に信頼してもらえるよう、また子ども達と長く関われるように。社会的養護や児童虐待についての勉強会をぐる一ん内で開催するだけでなく、他の団体の勉強会への積極的な参加を促すと共に、サポーター同士のフォローや相談体制を整えます。また、地域グループでの活動に重きを置き、イベントやワークショップを継続して行えるような体制を作ります。

さらに上記の3つの活動の上に、社会的養護の必要な子ども達と関わる中で見えてきたいくつかの課題に対して具体的な取り組みを始めます。

- ④ 児童養護施設の子ども達への就労・進学支援と居場所作り
- ⑤ 子育て中のお母さんのケア(施設に子どもを預ける前に)
- ⑥ ぐる一ん式週末里親登録の促進

これらの取り組みには行政との連携は不可欠であり、他の既存の団体との連携も必要になってくるかもしれません。必要に応じて柔軟に対応していきます。

子ども達を中心に置いて考え、子ども達が住みやすい社会を作るために、子ども達が愛情あふれる家庭で健やかに育つことを目指します。子ども達の交流イベント事業・抱っこ事業・里親養親研修事業等を通して、血縁を超えた新しい家族のかたちが当たり前を受け入れられる社会の実現に貢献できるよう尽力します。

今年度も、ご支援をよろしくお願いいたします。